

20200909 アフター・コロナの観光の基盤づくり

本保 芳明

インバウンドは復活するか？

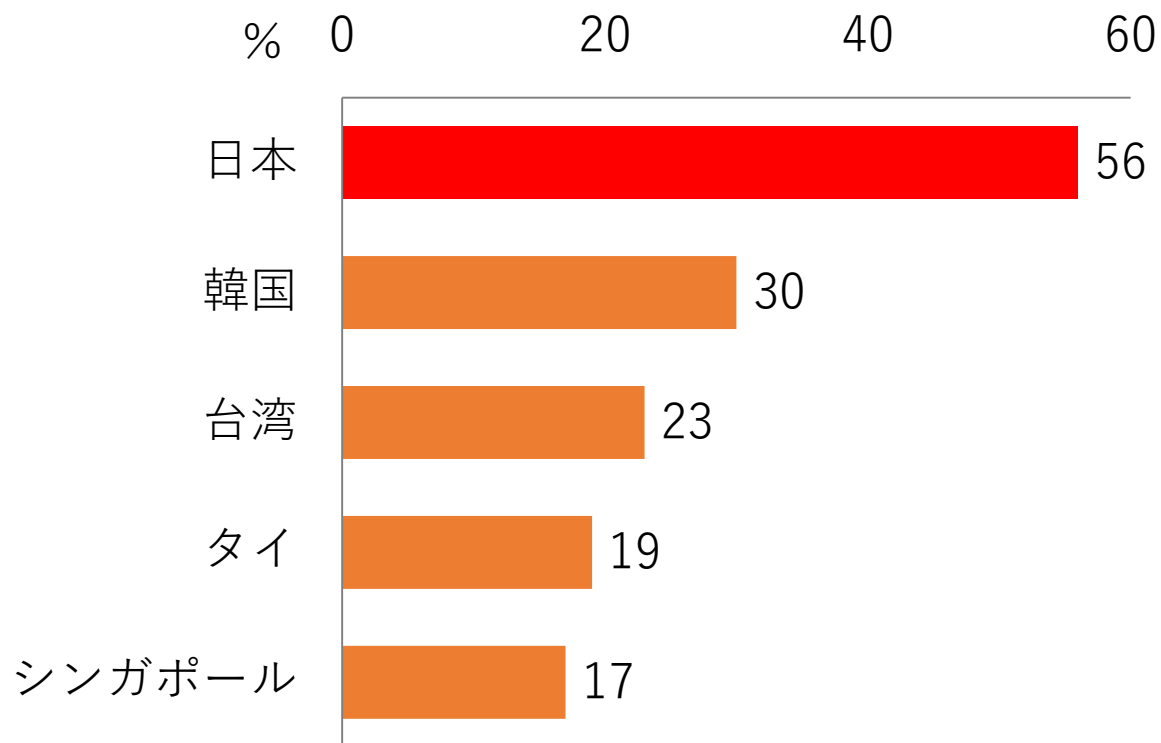
観光行動は大きく変化するか？

- ・ Withコロナの新たな観光行動（新たなツーリズム？）
- ・ 長距離移動の困難から近間の旅行増加
- ・ 健康志向の強まり、三密回避などによる自然志向
- ・ 非対面の部屋出しの食事提供、無人型フロント等の非接触型のサービス提供
- ・ 従来型の会議・集会の困難等

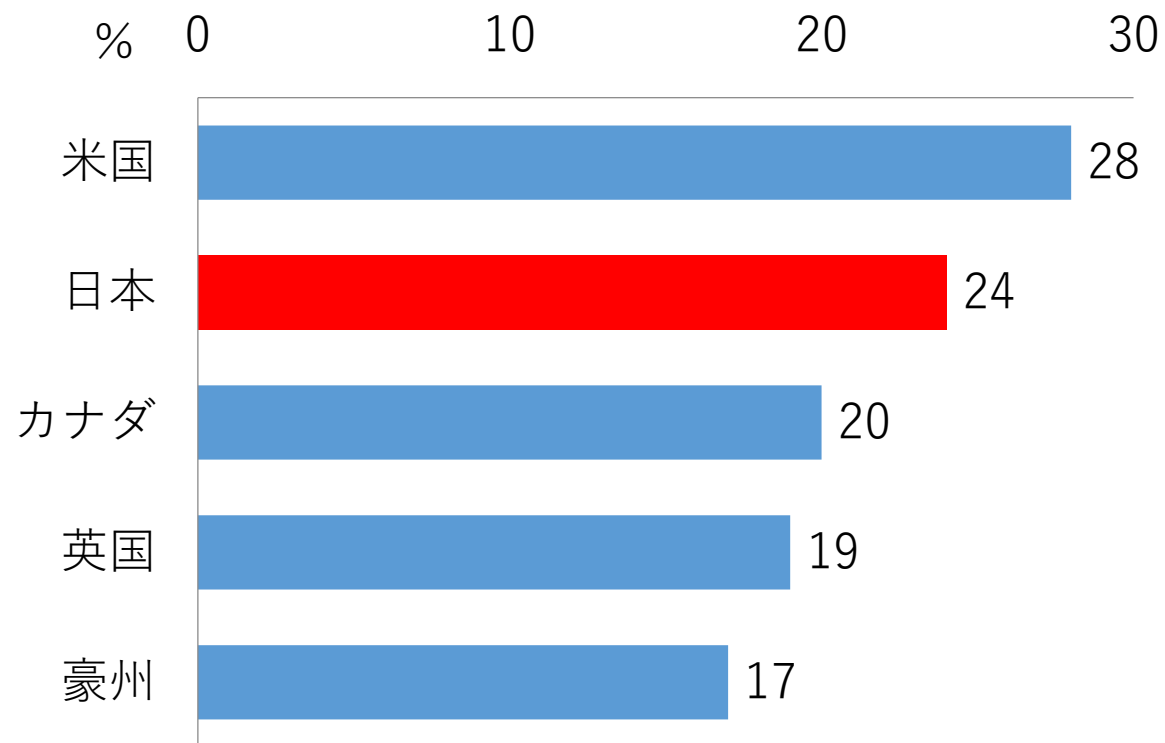
コロナ終息後に旅行したい国・地域

(財)日本交通公社・政策投資銀行調査（2020年6月実施）

アジア居住者



欧米豪居住者



当面の国内観光シフトを活用した国内観光の活性化と インバウンド復活の基盤づくり

- ・ インバウンドで得た新しいノウハウの日本人客への展開

情報発信、デジタル・マーケティング

滞在型

富裕層対応

- ・ 観光資源の磨き上げ 自然資源の活用、リゾート整備
- ・ 滞在型観光の推進

地域、住民に寄り沿った持続可能な観光の推進

- ・ インバウンドの功罪を経験した国民、住民は、観光の「厳しい審判者」に
- ・ 成長一辺倒の政策の限界
- ・ 地域、住民に寄り添った観光
- ・ 観光政策的には、エビデンスベースの持続可能な観光地経営推進。
- ・ SDGsへの貢献